

令和 7 年度事業報告

天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（令和 6 年度～令和 1 0 年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理を適正かつ効率的に行い、良好で安定的な下水処理の確保を図るとともに、設備機器類等の下水道施設の適切な維持管理を行うことで、持続的な下水道機能の確保に取り組んだ。

また、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を実施するとともに、中期経営計画に基づき継続的な業務改善と効果的・効率的な管理運営の推進並びに一層の経費の縮減に取り組んだ。

令和 7 年度決算額は、5 3 6, 2 0 4 千円であり、主要機器の分解整備工事など予防保全的修繕を着実に実施するとともに、効率的な管理運営により経費の縮減に取り組みを行ったが、資材、薬品の高騰、修繕工事の増加などで、前年度比 4 % の増加となった。

【指定管理受託料】

（単位：千円）

年 度	令和 7 年度	令和 6 年度	前年度比
決 算 額	5 3 6, 2 0 4	5 1 3, 9 2 6	1. 0 4

1 天神川流域下水道の管理運營業務

(1) 天神浄化センターの運転管理、水質管理等

天神浄化センターの流入汚水に対して、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理を適正かつ効率的に行い、常に良好な状況を保持し下水道機能の確保を図るとともに、年間を通じて良好で安定的な下水処理を実施することができた。脱水汚泥は全量処分委託により堆肥化等として有効活用を図った。

流入汚水量は年間 6, 893 千 m³（日量 18, 884m³）で前年度比 0. 6% の減少となり、脱水汚泥は年間 4, 212 トンで 3. 9% の増加、使用電力量は 4, 097 千 kwh で 0. 9% の増加であった。

ア 流入汚水量の状況

年間計画流入水量は、7, 066, 788 m³（日平均 19, 361m³）であり、流入汚水量は、表のとおりであった。

（単位：m ³ ）	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
日 平 均	17, 845	17, 705	18, 705	18, 089	19, 084	18, 655	18, 986
月 計	535, 346	548, 848	561, 143	560, 761	591, 610	559, 636	588, 570
（単位：m ³ ）	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	
日 平 均	18, 310	19, 404	20, 178	20, 581	19, 175	18, 884	
月 計	549, 314	601, 526	625, 517	576, 258	594, 437	6, 892, 966	

イ 水処理の状況

項 目	流入下水	放 流 水	放流水の水質基準 （下水道法）	水質除去率
B O D （mg/ℓ）	160	7. 0	15	96%
浮遊物質（SS）（mg/ℓ）	160	2	40	99%

ウ 汚泥処理の状況

（単位：t）	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
脱水汚泥	363.3	394.1	366.5	396.2	358.3	322.9	342.8

(単位:t)	11月	12月	1月	2月	3月	計	対前年比
脱水汚泥	288.3	360.6	368.9	309.9	340.0	4,211.8	103.9%

※汚泥搬出（3社：肥料化、炭化製品）搬出総量：4,538.49t

エ 電力、重油等及び業務用薬品類の使用状況

電力量	上水道	燃料(重油)	次亜塩素酸ソーダ [※]	高分子凝集剤
4,097,424kWh (前年度比 100.9%)	1,382m ³ (前年度比 84.2%)	4,118ℓ (前年度比 133.5%)	83.1m ³ (前年度比 95.3%)	9,415kg (前年度比 90.5%)

(2) 施設の維持管理業務

天神浄化センターの日々の運転操作・監視及び保守点検を外部委託で実施するとともに、設備機器類の定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕として冷却水ポンプ他、無停電電源装置、誘導灯・煙感知器等の工事、計画的な分解整備（オーバーホール）としてベルト型ろ過濃縮機、し渣脱水機他や流量計測設備修繕工事の予防保全的修繕を実施し、故障・事故の未然防止と低減及び施設の機能保全に取り組んだ。

また、若土ポンプ場施設や市町処理分区の流量計測設備（23箇所）等の維持管理、幹線管路施設の巡回点検等を実施した。

【1件100万円以上の修繕費】 (単位：千円)

年 度	令和7年度	令和6年度
件 数	7	7
金 額	100,317	84,054

(3) 緊急時の対応

天神川流域下水道非常時対応要綱に基づき、公社の運用方法等（緊急非常時対応基準書、異常大量流入水時の運転計画）を定め、水害、地震・津波、異常流入水、下水道施設の破損等に備えている。

- ・水質事故現地対策訓練・・・天神川水系水質汚濁防止協議会の訓練に参加した。（10月20日）
- ・管路点検・・・島根県東部地震の発生、幹線管渠の緊急点検を実施した。（1月6日）
- ・総合訓練・・・豪雨による異常大量流入水を教訓に災害本部の立ち上げ、着水井ゲート操作、緊急点検等を実施した。（3月27日）

2 下水道の水質分析等

令和7年度水質試験計画により、天神浄化センターへ流入する汚水、放流水、市町処理分区の接続点の汚水及び汚泥等の分析を公社が直営で実施し、ダイレクトに現場へ反映させることにより、適正かつ効率的な運転管理に取り組んだ。

試 験 名	試験回数	試 験 項 目	検体数	備 考
日常試験	242	水温、外観、透視度等6項目	10,219	毎日（休日等除く）
中試験	181	BOD、COD、浮遊物質等31項目	5,671	週1回
精密試験	24	n-ヘキサン抽出物質等13項目	280	月2回～年2回
通日試験	4	BOD、COD、浮遊物質等10項目	748	年4回
汚泥試験	27	温度、蒸発残留物、含水率等13項目	1,274	月2回～年3回

管渠接続箇所試験	1	水温、pH、BOD 等 14 項目	280	年 1 回
放流海域試験	4	大腸菌群数、塩化物イオン等 13 項目	260	年 4 回
悪臭物質試験	1	アンモニア、硫化水素等 5 項目	52	年 1 回
騒音試験	1	騒音	16	年 1 回
合 計	485		18,800	

3 下水道技術者の養成

(1) 下水道公社職員の技術の向上を図るため、次のとおり研修会、講習会等に積極的に参加した。

- ・熱中症予防労働衛生教育（鳥取県労働基準協会中部支部） 5 月 29 日 1 名受講
- ・電気主任技術者研修会 8 月 27 日 1 名受講
- ・危険物取扱者保安講習 9 月 17 日 1 名受講
- ・浸水対策に関する技術説明会（実運用編） 10 月 17 日 1 名受講(Web)
- ・K Y T（危険予知訓練）研修（鳥取県労働基準協会） 11 月 18 日 1 名受講
- ・令和 7 年度鳥取県資産運用セミナー 11 月 20 日 1 名参加
- ・令和 7 年度鳥取県 PPP/PFI 推進地域プラットフォームセミナー 11 月 20 日 1 名参加
- ・公益法人・一般法人会計「基礎編」 1 名受講(オンデマンド) 1 月 5 日～14 日 1 名受講

4 下水道技術の調査研究

(1) 第 62 回下水道研究発表会 in 大阪に参加し、下水道に関連する技術や下水道経営など日頃の研究成果や実務事例等を調査した。 7 月 29 日～31 日

(2) 毎月 1 回水処理・汚泥処理等検討会として、適切かつ効率的な管理運営、業務改善等の調査研究を実施した。

5 下水道知識の普及及び啓発

(1) ホームページに下水道の仕組み、公社の財務状況、水処理状況等を随時更新した。

(2) 下水道についての理解と普及促進を図るため次のとおり開催した。

ア 水について知ろう！親子でめぐる水の循環バスツアー（例年は、ぐるり水の探検）

鳥取県内の小学校 3 年生から 6 年生の児童とその保護者を対象に、鳥取県中部の名水（宇野地蔵ダキ）、大山乳業農業共同組合の工場見学及び天神浄化センターの施設見学、顕微鏡の観察、水質検査等の体験を行い、水の循環、適正な利用、汚水処理について理解を深めてもらった。

開催日：7 月 26 日

参加者：鳥取県内の親子 48 名（子ども 25 名、保護者 23 名）

イ 下水道コンクール

中部地区の小学校 4 年生の児童を対象に下水道に関する絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集した。審査会を実施して、優秀作品には表彰状を授与した。

入賞作品：絵画・ポスター 9 点、習字 13 点、標語 10 点

応募作品数：合計 753 点（対前年比 15%の増加）

	絵画・ポスター	習字	標語	計
令和 7 年度作品数	71	524	158	753
令和 6 年度作品数	2	488	162	652

審査会：9 月 12 日

表彰式：10月5日（倉吉交流プラザ）

作品展示会：9月30日～10月5日（倉吉交流プラザ）

ウ 下水道ふれあい教室

職員が小学校に出向き、環境教育の一環として下水道の仕組み、微生物の説明、顕微鏡観察、水質検査等の出前授業行った。（2校 97人）

エ 天神浄化センター見学者

新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、見学者の受入れを行った。

天神浄化センターへの見学者数は、次のとおりである。

年度	総 数	内 訳		
		一 般	学校関係	官公庁職員
令和7年度	795人	0人	784人	11人
令和6年度	649人	56人	593人	0人

6 中期経営計画の取り組み

中期経営計画2025（令和7年度～令和10年度）に基づき、適正かつ効果的な下水処理施設の維持管理を行うとともに、継続的な業務内容の点検・見直し及び管理運営の一層の効率化の前進に取り組んだ。

(1) 水処理・汚泥処理等検討会の開催と継続的な業務改善

水処理・汚泥処理等検討会を開催し、業務の充実・改善と適切かつ効率的な管理運営の調査検討に取り組んでいる。

- 4月 ・中期経営計画2021（令和3～6年度）最終評価、中期経営計画2025（令和7～10年度）（案）について
- 5月 ・エネルギー消費削減の現状と今後について
- 6月 ・熱中症予防について
- 7月 ・令和6年度維持管理実績概要と今後の取組について
- 8月 ・天神川流域下水道における雨天時浸入水対策に係る共同研究について
- 9月 ・夏場における2種類の高分子凝集剤を使用した場合のトータル経費の比較について
- 10月 ・全国下水道公社におけるウォーターPPPの対応状況について
- 11月 ・消防の自主点検の結果について
- 12月 ・公社ホームページに掲載する水処理棟の説明動画について
- 1月 ・令和8年1月6日に発生した地震について（振り返り）ほか
- 2月 ・令和7年度TEASⅡの取組状況について
- 3月 ・令和8年度 ぐるり水の探検 実施計画について

7 その他

(1) 全国下水道公社連絡協議会、中国四国下水道公社連絡協議会

次のとおり開催があり、職員が出席した。

会 議 名	主 催 者	開 催 日	出席者	備 考
第47回全国下水道公社連絡協議会	（公財）富山県下水道公社	10月16日～17日	次長1名	
第31回中国四国下水道公社連絡協議会	（公財）香川県下水道公社	11月21日	事務局長他1名	

(2) 県の監査、検査

財政援助団体本監査（県監査委員） 7月8日 指摘事項なし

(3) 雨天時浸入水に係る関連公共下水道との意見交換会

梅雨時期の豪雨が予想されることから、現状や危機管理体制等について、県・関連公共市町との意見交換を実施した。（6月27日）

(4) 人権教育の研修会

次のとおり研修会への参加、職場研修を実施した。

- ・第2回公正採用選考人人権啓発推進員研修 8月25日 1名受講
- ・あいサポーターに関する研修
サポーター研修 6月19日 1名受講
- ・職場内個人情報保護研修 12月16日 全員受講
- ・職場内人権研修会 2月26日

(5) 消防訓練

消防計画に基づき、訓練を実施した。 3月27日

(6) 維持管理 年報の作成

P D F ファイルをC D に保存とホームページに掲載した。

(7) 業務の確認等

- ・脱水汚泥の処分業務委託について、搬出、処分状況を確認した。（岡山県真庭市、兵庫県加古川市、境港市）

(8) その他

- ・防火管理講習会 6月24, 25日 1名受講
- ・職長（安全担当者）教育研修 7月9, 10日 1名受講
- ・不当要求行為等対策責任者研修 7月23日 1名受講
- ・TEASⅡの確認審査があり、「指摘なし」であった。 3月10日

8 理事会及び評議員会の開催と議決事項

(1) 理事会

名 称	開 催 年 月 日	議 決 事 項
第55回理事会 (みなし決議)	令和7年5月1日	・評議員会の招集について
第56回理事会	令和7年5月20日	・令和6年度事業報告について ・令和6年度決算について ・中期経営計画2025について ・事務局長の任免について ・役員の報酬について ・評議員会の招集について
第57回理事会	令和8年3月25日	・令和8年度事業計画について ・令和8年度予算について

(2) 評議員会

名 称	開 催 年 月 日	議 決 事 項
第 2 8 回評議員会 (みなし決議)	令和 7 年 5 月 1 3 日	・ 評議員の選任について
第 2 9 回評議員会	令和 7 年 6 月 5 日	・ 令和 6 年度事業報告について ・ 令和 6 年度決算について ・ 中期経営計画 2 0 2 5 について ・ 役員の報酬について

9 登記事項

事 由	登 記 事 項	登記年月日
評議員の就任 及び辞任	令和 7 年 3 月 31 日 評議員 中村 吉孝 辞任 令和 7 年 5 月 13 日 評議員 後藤田 拓也 就任	令和 7 年 5 月 22 日

＊申請先は、鳥取地方法務局

10 監事による監査

令和 6 年度決算監査 令和 7 年 4 月 30 日

令和 7 年度定例監査 令和 7 年 12 月 23 日